



## 平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月15日

上場会社名 株式会社ベクトル 上場取引所 東  
 コード番号 6058 URL http://www.vectorinc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 西江 肇司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 山本 高太郎 TEL 03-5572-6080  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,646	21.6	672	28.0	677	32.8	367	30.9
27年2月期第2四半期	3,819	20.2	525	28.8	509	24.3	280	21.2

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 341百万円 (20.2%) 27年2月期第2四半期 284百万円 (20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	24.76	24.60
27年2月期第2四半期	21.06	20.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	7,746	5,838	74.3	387.79
27年2月期	7,106	5,627	78.1	374.15

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 5,754百万円 27年2月期 5,551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,470	25.9	1,700	35.5	1,640	38.2	900	36.5	60.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	14,838,600株	27年2月期	14,836,200株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	48株	27年2月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	14,836,614株	27年2月期2Q	13,328,997株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油安等を背景とした企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が見られるなど、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、欧州における財政問題や新興国における経済成長率の鈍化などもあり先行き不透明な状況でありました。

このような市場環境のもと、当社グループにおいては、「アジアNo. 1のPRグループになる」という目標の達成に向け、国内外を問わず引き続き堅調に成長を実現いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,646百万円（前年同期比21.6%増）、営業利益は672百万円（前年同期比28.0%増）、経常利益は677百万円（前年同期比32.8%増）、四半期純利益は367百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ・PR事業

PR事業においては、当社グループの中核事業である戦略PRのほか、急速に需要を伸ばす動画コンテンツやアドテクノロジーを活用したPR施策をサポートするサービスを強化するなど、引き続き進化を続ける市場環境にいち早く対応しながら顧客の「いいモノを世の中に広める」ための活動を国内外を問わず幅広くサポートし、堅調な成長を達成しました。

国内においては、戦略PRを中心に既存事業の各分野で引き続き順調に業績を伸ばしましたが、付加価値の高い新たなサービスの開発もすすめました。当第2四半期連結累計期間においては、6月に新たに子会社として株式会社ビデオワイヤーを設立し、顧客のサービス等を動画でわかりやすく効果的に配信できる「NewsTV」を開始しました。企業が自社で制作する一般的な企業紹介動画とは異なり、「NewsTV」は、当社がサポートして実施する顧客の新製品発表イベント等のニュースを1分程度の“ビデオリリース”として無料で動画コンテンツ化し、それをアドテクノロジーを活用してターゲットに対して直接配信するサービスです。当社グループが提供するPRサービスの価値をさらに高める手法として今後も需要が伸びていくものと見込んでおります。

また海外においても、顧客のアジア・ASEAN地域におけるPRサービスに対する需要を積極的に取り込み、当社が経済産業省のクールジャパン・ワールドトライアル事業の補助事業者決定するなど、日系企業や官公庁が海外進出する際に行う様々なPR施策をサポートしました。

以上の結果、PR事業全体では、売上高は4,185百万円（前年同期比21.1%増）、営業利益は562百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

#### ・ニュースリリース配信事業

株式会社PR TIMESが手掛けるニュースリリース配信事業においては、ニュースリリース配信サイト「PR TIMES」を初めとした多数のWebサイトに顧客のニュースリリースを配信・掲載しております。「PR TIMES」は、平成27年7月に月間配信本数が4,854本と過去最高記録を更新するとともに、利用企業社数についても平成27年8月に10,000社を突破し、9,000社突破から4カ月間での達成となり順調に成長いたしました。

その結果、ニュースリリース配信事業における売上高は516百万円（前年同期比27.1%増）、営業利益は125百万円（前年同期比158.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ640百万円増加し、7,746百万円となりました。

流動資産におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、5,737百万円と前連結会計年度末に比べ291百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が774百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が173百万円、未成業務支出金が42百万円増加したことが主な要因となります。

固定資産におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、2,009百万円と前連結会計年度末に比べ931百万円の増加となりました。これは、有形固定資産が103百万円、無形固定資産が98百万円、投資有価証券が681百万円増加したことが主な要因となります。

##### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ428百万円増加し、1,908百万円となりました。

流動負債におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、1,881百万円と前連結会計年度末に比べ429百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金が37百万円、未払法人税等が61百万円、賞与引当金が32百万円減少したものの、短期借入金が632百万円増加したことが主な要因となります。

固定負債におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、26百万円と前連結会計年度末に比べ0百万円の減少となりました。これは、リース債務が2百万円減少したことが主な要因となります。

(純資産の部)

純資産におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、5,838百万円と前連結会計年度末に比べ211百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が233百万円増加したものの、為替換算調整勘定が34百万円減少したことが主な要因となります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は2,841百万円と、前連結会計年度末に比較して774百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は106百万円（前年同期は256百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上684百万円、売上債権の増加額173百万円、たな卸資産の増加額118百万円、法人税等の支払額337百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は1,119百万円（前年同期は370百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出152百万円、無形固定資産の取得による支出66百万円、投資有価証券の取得による支出664百万円、貸付けによる支出155百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は495百万円（前年同期比118.9%増）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額632百万円、配当金の支払額133百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年4月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,616,009	2,841,373
受取手形及び売掛金	1,968,599	2,142,511
商品及び製品	-	76,521
未成業務支出金	37,568	79,641
繰延税金資産	98,332	101,466
その他	312,987	499,750
貸倒引当金	△5,260	△4,242
流動資産合計	6,028,237	5,737,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	110,935	183,285
機械装置及び運搬具	5,674	5,674
工具器具備品	173,924	231,346
リース資産	55,581	56,237
減価償却累計額	△168,383	△195,590
有形固定資産合計	177,732	280,953
無形固定資産		
のれん	29,668	82,333
ソフトウェア	141,675	151,970
その他	4,795	39,970
無形固定資産合計	176,139	274,275
投資その他の資産		
投資有価証券	535,714	1,216,912
敷金及び保証金	121,517	147,447
繰延税金資産	55,940	56,632
その他	11,479	33,660
投資その他の資産合計	724,651	1,454,653
固定資産合計	1,078,523	2,009,882
資産合計	7,106,760	7,746,904
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,107	317,983
短期借入金	48,502	681,314
未払法人税等	318,264	256,994
賞与引当金	129,638	96,653
リース債務	11,689	10,193
その他	589,318	518,728
流動負債合計	1,452,522	1,881,866
固定負債		
リース債務	23,643	21,439
その他	3,421	4,707
固定負債合計	27,065	26,146
負債合計	1,479,588	1,908,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,738,760	1,740,670
資本剰余金	1,698,760	1,700,670
利益剰余金	2,069,182	2,303,047
自己株式	-	△89
株主資本合計	5,506,702	5,744,299
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,306	9,994
その他の包括利益累計額合計	44,306	9,994
新株予約権	16,100	16,063
少数株主持分	60,063	68,534
純資産合計	5,627,172	5,838,891
負債純資産合計	7,106,760	7,746,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	3,819,764	4,646,383
売上原価	1,629,240	1,936,386
売上総利益	2,190,524	2,709,996
販売費及び一般管理費	1,665,202	2,037,517
営業利益	525,322	672,479
営業外収益		
受取利息	2,637	9,187
為替差益	188	33,679
投資事業組合運用益	-	951
その他	719	405
営業外収益合計	3,545	44,224
営業外費用		
支払利息	2,952	2,062
持分法による投資損失	13,236	33,872
投資事業組合運用損	2,584	2,936
その他	117	681
営業外費用合計	18,891	39,552
経常利益	509,975	677,150
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16,293
固定資産売却益	4,999	-
持分変動利益	8,024	-
特別利益合計	13,024	16,293
特別損失		
固定資産除却損	-	8,497
リース解約損	1,078	-
減損損失	15,794	-
特別損失合計	16,873	8,497
税金等調整前四半期純利益	506,126	684,947
法人税等	225,307	309,085
少数株主損益調整前四半期純利益	280,818	375,861
少数株主利益	171	8,471
四半期純利益	280,646	367,390

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	280,818	375,861
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,435	△34,311
その他の包括利益合計	3,435	△34,311
四半期包括利益	284,254	341,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,082	333,078
少数株主に係る四半期包括利益	171	8,471

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	506,126	684,947
減価償却費	41,754	56,554
のれん償却額	1,644	5,668
長期前払費用償却額	1,200	2,206
その他の償却額	7,367	8,797
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△16,293
持分法による投資損益 (△は益)	13,236	33,872
固定資産除却損	-	8,497
減損損失	15,794	-
持分変動損益 (△は益)	△8,024	-
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,584	1,984
リース解約損	1,078	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,830	△1,017
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,517	△32,985
受取利息	△2,637	△9,187
支払利息	2,952	2,062
売上債権の増減額 (△は増加)	△276,279	△173,911
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,721	△118,544
仕入債務の増減額 (△は減少)	19,788	△37,124
その他	183,854	△186,750
小計	517,069	228,774
利息及び配当金の受取額	2,637	4,634
利息の支払額	△2,952	△2,822
法人税等の支払額	△260,268	△337,231
法人税等の還付額	45	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,531	△106,644
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△58,815	△152,968
無形固定資産の取得による支出	△49,792	△66,730
関係会社株式の取得による支出	△29,944	△10,000
関係会社株式の売却による収入	-	8,200
投資有価証券の取得による支出	△108,084	△664,901
事業譲受による支出	-	△58,333
貸付けによる支出	△134,725	△155,000
貸付金の回収による収入	10,372	15,090
敷金及び保証金の差入による支出	△2,226	△37,185
その他	2,960	2,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370,256	△1,119,231
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	221,031	632,051
新株予約権の発行による収入	16,100	-
株式の発行による収入	5,160	3,784
自己株式の取得による支出	-	△89
リース債務の返済による支出	△8,037	△7,518
少数株主からの払込みによる収入	49,565	-
配当金の支払額	△57,575	△133,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	226,244	495,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,196	△43,951
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117,715	△774,635
現金及び現金同等物の期首残高	1,281,134	3,616,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,398,849	2,841,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PR事業	ニュース リリース 配信事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,449,201	370,563	3,819,764	—	3,819,764	—	3,819,764
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,640	35,753	43,393	4,376	47,770	△47,770	—
計	3,456,841	406,316	3,863,157	4,376	3,867,534	△47,770	3,819,764
セグメント利益又は損失 (△)	480,302	48,696	528,999	△3,676	525,322	—	525,322

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PR事業」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては15,794千円であります。

2. 当第2四半期連結累計期間（自平成27年3月1日 至平成27年8月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PR事業	ニュース リリース 配信事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,177,742	465,018	4,642,760	3,622	4,646,383	—	4,646,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,689	51,432	59,121	51,779	110,900	△110,900	—
計	4,185,431	516,450	4,701,882	55,401	4,757,283	△110,900	4,646,383
セグメント利益又は損失 (△)	562,829	125,848	688,678	△13,724	674,954	△2,475	672,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,475千円は、セグメント間取引消去△2,475千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

ニュースリリース配信事業を行う株式会社PR TIMESは、売上規模、組織規模ともに順調に拡大を続け、独立セグメントとして取り扱うに足る段階に至っていると判断されるため、第1四半期連結会計期間より「ニュースリリース配信事業」として独立させ、報告セグメントの区分を「PR事業」「ニュースリリース配信事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。